

【話の流れのイメージ】

原作同様、綾羽が不死人と対峙する。

綾羽がエルフストリーク（格闘術）で不死人を攻め立てるも、水のように身体が融けて通じない。

逆に、隙を突かれて、キスまたは牙で媚薬を入れられてしまう。

どうにか不死人を振り払うも、倦怠感や搔痒感が徐々に込み上げてくる。

さらには、こらえきれない尿意がじわじわと込み上げてきて、動きがさらにぎこちなくなる。

攻撃を繰り返したところで力んで失禁してしまう。その隙に立った状態のまま水の蔦で拘束されてしまう。

キスまたは牙で嘔まれて、さらに媚薬を注がれる。

上半身の衣服を取り払われ、指と水流での乳首責め、スペンス乳腺責めで快楽を仕込まれる。

ショーツをずりさげられて片膝を上げさせられ（本編にもある描写）、乳首とクリを水での吸着責め、秘部を変幻自在の水の指で貫かれて、なすすべなく絶頂させられる。

胸から下を解かした不死人に身体を覆われ、洗うように舐めるように全身を愛撫される。

胸や秘部はもちろん、臍や腋、お尻といった個所も、水の舐めるような撫でるような動きで責められる。

途方もない恍惚感の中で「あたしの奴隷になりなさい」と囁かれると

身体の内も外も快楽で染められた綾羽は「なります、貴女の奴隷に、なります」と宣言してしまう。

ぼろぼろ泣きながら、心の中で翼に守れなかったことを謝りながらも、不死人に溺れて、身体を預けて、甘い唾液を貪欲に取り込んで、腰を揺らめからせて絶頂を貪ってしまう...というエンドで。

綾羽寄りの、原作と雰囲気寄せた三人称視点で。

責めの内容などは適宜アレンジください。NG 要素以外なら大丈夫です。

【NG 要素】

ふたなり、触手などの生物、チンコ系の道具（ディルド、ペニパンなど）、痛い系の責め（ピアッシングなど）、罵倒（雌豚など）、大のス

それ以外の道具、小のおもろしは好きです